

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	持続可能な観光開発	■募集人数（人）	1
■学位	修士		
■担当部署名	経済開発部 民間セクター開発グループ		
■募集の背景			
<p>観光セクターは途上国の経済開発にとってGDPと雇用を生み出す有望な産業であり、既存の国内資源の活用による外貨獲得、関連業種の幅広さ、雇用吸収力等の点から、多くの途上国にとって観光産業は有望かつ期待の高い産業である。しかし、観光セクターは新型コロナウイルスの感染拡大によって最も深刻なダメージを受けることになった産業分野であり、真に持続可能でレジリエント（強靱）な観光産業の必要性が浮き彫りになっている。また、経済面だけでなく、文化的意義や地域住民のアイデンティティ・誇り、環境保護等の観点からも、観光関連産業を持続可能なものにしていく必要があり、協力のニーズが高い。観光による正のインパクトを最大限引き出し、負のインパクトを制御するためには、観光産業の主たるプレイヤーである民間事業者が持続的に発展するための基盤づくりが重要であり、JICAは各国の行政機関との協力を通じた観光セクターへの支援を実施している。</p> <p>上記の背景の下、途上国の観光開発に専門的知見を有する国際協力人材の確保が必要となっている。</p>			
■本事業を通じて育成が期待される人材像			
<p>途上国において、観光を活用した持続可能な地域経営の実践を支援することにより地域を取り巻く経済、社会、環境面の課題の解決に総合的に取り組み、地域資源を有効利用した自律的で質の高い成長の確保を支援できる専門家人材が育成されることが期待されている。当該分野に関連する学術的な知見を有し、途上国政府やパートナー機関と専門的な知見に基づく助言や議論が行える専門家人材が育成されることが期待されている。</p>			
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）			
<p>持続可能な観光経営学、観光政策学、国際観光開発学等 （上記に加えて、観光分野を重視する公共政策学、経営学、社会学、文化人類学、統計学、防災学等も対象とする）</p>			
■参考情報			
<p>JICAの観光開発分野の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tech_pro/case/20211213.html ・ https://www.jica.go.jp/publication/mundi/ku57pq00002kfsx7-att/201807.pdf 			
■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間			
<p>学位取得後に1～2年程度JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定 * 面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合がございます。</p>			
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
必須	学士号		
必須	当該分野に関連する5年以上の実務経験を有すること。		
必須	JICA専門家/企画調査員として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外勤務経験を有すること		
■備考・留意点			